

水の大切さを考える「水の日」

毎年8月1日は「水の日」です。水循環基本法^{みずじゅんかんきほんほう}において、国民が水循環^{みずじゅんかん}の大切さについて理解と関心を深めるために定められました。

「水の日」を考えていただくため、「水」を連想させるブルーのライトアップが全国で行われています。

8月1日～7日「水の週間」限定のライトアップです。

茨城県内の施設もライトアップをしているから、見に行ってみてね♪



水戸芸術館

写真提供：水戸市



水戸市水道低区配水塔

写真提供：水戸市



水戸駅北口

写真提供：水戸市



高萩市役所（庁舎東側）

写真提供：高萩市



日立シビックセンター

写真提供：日立市



茨城県庁舎

ダムについて

国土交通省 HP 内 「ダムの施策紹介」
<https://www.mlit.go.jp/river/dam/index.html>



水循環について

内閣官房水循環政策本部事務局 HP 内 「水循環について」
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junkan/about/index.html



地下水について

内閣官房水循環政策本部事務局 HP 内 「地下水の基礎」
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gmpp/guide/technologies/fundamentals.html>



「水の日」・「水の週間」について

独立行政法人水資源機構 HP 内 水の週間実行委員会 「水の日」・「水の週間」
<https://www.mizunohi.jp/intro/index.html>



水についてもっと
知りたいときは

編集・発行

茨城県政策企画部水政課 〒310-8555 水戸市笠原町 978-6
TEL 029-301-2625 FAX 029-301-2629
<https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/kikaku/mizuto/index.html>



（令和7年12月発行）

水の大切さを学ぶ



わたしたちが使える水の量はごくわずかです

地球は宇宙から見ると青く美しく輝^{かがや}いていることから、「水の惑星^{わくせい}」といわれています。地球の表面の約70%は海であり、水がたくさんあります。

しかし、わたしたちが飲み水などに利用できる塩分^{えんぶん}を含まない水（淡水^{たんすい}）は、地球上にごくわずかしかありません。

例えば

地球上に存在する水の量をお風呂の水
1杯分（約190L※）とすると

※2Lのペットボトル95本分



淡水^{たんすい}の量

淡水は2Lのペットボトル
2本と少し（4.7L）



※淡水（たんすい）のほとんどが南極・北極等の氷や氷河として存在する水や地下水です。

わたしたちが使える淡水^{たんすい}の量

地下水は2Lの
ペットボトル
半分と少し

1.4L



川・湖・沼は
大さじ1杯



15mL

参考文献：内閣官房水循環政策本部事務局「流域マネジメントの事例集」

ダムのはたらきについて

ダムは、川に流れている水をせき止めて貯めることができる施設です。

大雨が降ったときは川の水があふれて洪水にならないように、反対に雨が降らない日が続いたときはダムに貯めた水を流すことで川が干上がらないようにすることができます。

ダムは、私たちが水害から守ってくれたり、いつでも水が使えるように水の量を調整したり、いつも私たちの生活を守ってくれています。



ダムの役割についてみてみよう

① 治水（ちすい）

大雨が降った時に川の水があふれて水害がおこらないように、流れる水の量を調整して私たちの生活を守っています。



② 流水の正常な機能維持（きのういじ）

川の水が枯れて船が通れなくなったり、動植物が生きていけなくならないように、水を流して河川環境を維持しています。



③ 利水（りすい）

ダムに貯めていた水を川の水が少ない時に流すことで、いつでも水道や工業、農業に必要な水を使うことができます。



④ 発電（はつでん）

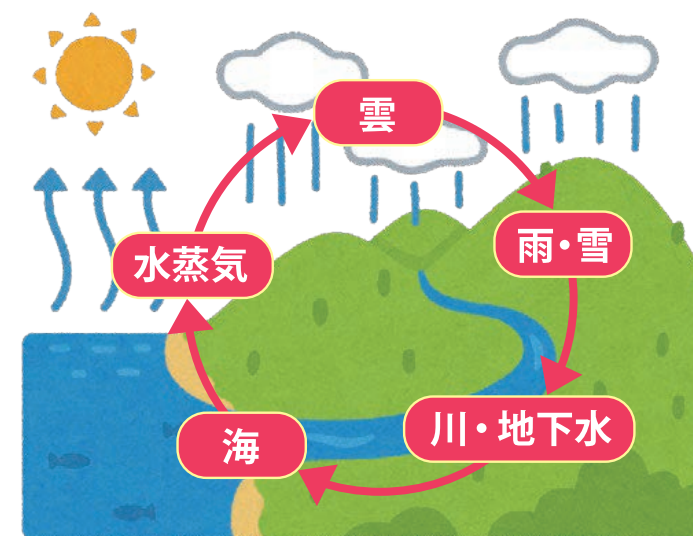
ダムに貯まった水が高い所から落ちる力を利用して、水車（タービン）をまわして電気をつくっています。



茨城県が所有しているダム

※県外のダムや霞ヶ浦の水も利用しています。

水循環（みずじゅんかん）ってなに？



生活に使っている水は姿を変えて地上と空をまわっています。

太陽の熱により海の水が蒸発すると、上空で雲となります。

やがて、雨や雪となって、地上に降り注ぎ、それが集まって川や地下水となって流れて、海にもどります。

この、一連の流れを「水循環」といいます。

生活に大切な水ですが、使いすぎると水が減って、お風呂に入れなくなったり、水洗トイレが使えなくなったり、野菜やお米などの農作物が作れなくなったりします。

また、汚い水をそのまま流すと、魚などの生き物が生きられなくなってしまう。そうすると、自然環境が悪くなり、わたしたちの生活にも影響します。

地下水も大切な資源（しげん）

川や湖・沼のほかに、地面の下に水があるのを知っていますか？

雨や雪が地面にしみこんで、長い年月をかけて地下にたまった水を地下水といいます。地下水は日に1メートルから数メートルくらいの速さでゆっくりと流れていて、深い層の地下水は、数十年前から数百年前のものと言われています。

茨城県では、昔から井戸を掘って、生活や農業、工業などに地下水を利用してきました。しかし、使いすぎると地下水が減ってしまい、地盤沈下（地面の高さが下がること）が発生したり、地下水に海水が混ざりこんだりして、周りの環境に影響が出てきてしまいます。

貴重な資源である地下水を、大切に使いましょう。

